

市内米軍施設の現況等について

1 令和4年9月21日以降の主な経過

令和4年

9月21日 基地対策特別委員会

- 議題**
- 1 市内米軍施設の現況等について
 - 2 政府に対する要望活動について

9月21日 基地対策特別委員会視察（根岸住宅地区）

10月3日 「旧富岡倉庫地区におけるサウンディング型市場調査の実施について」
本市が発表

10月3日 神奈川県基地関係県市連絡協議会（本市は副会長市）が「県内米軍基地からの相次ぐPFOS等の流出に関する緊急要請」を国に提出（別紙参照）

【要請内容】

- 1 横須賀基地のPFOS等流出について、早急に原因究明を行い、汚染物質の徹底的な除去や施設の改修など抜本的な対策を講じること。また、抜本的な対策が実現するまでの間も、可能な限りの対策を早急に講じること。
- 2 厚木基地のPFOS等流出について、流出量などの詳細を早急に公表するとともに、更なる流出が生じないように、万全の対策を講じること。
- 3 現在、自治体が国に対して求めている環境補足協定に基づく立入調査について、早急に実現すること。
- 4 厚木基地をはじめ、PFOS等を含む製品の代替品への交換が終わっていない基地については、早急に代替品への交換を完了すること。また、交換までの間は、漏出防止など安全対策に万全を期すこと。
- 5 PFOS等を含む製品の代替品への交換が終わっている基地を含め、早急に使用・保管状況等を精査し、その結果を公表するとともに、PFOS等が残留している可能性がある場所があれば、土壌や水質の調査を行うこと。
- 6 日米両国政府が協力して、基地内外のPFOS等の継続的な監視体制を構築し、定期的に行う検査結果について情報を公表すること。

構成：神奈川県、横浜市、相模原市、藤沢市、逗子市、大和市、
海老名市、座間市、綾瀬市

10月28日 厚木基地騒音対策協議会総会において、厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機騒音の解消等に関する要請書が決定され、10月31日及び11月1日に国等に対し要請行動を実施

【要請項目】

(外務省、防衛省ほか)

- 1 空母艦載機着陸訓練を硫黄島で全面实施すること
- 2 恒常的訓練施設を確保すること
- 3 厚木基地の運用、騒音状況等についての情報提供を行うこと

構成：神奈川県、横浜市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、町田市

11月11日 防衛省南関東防衛局から「共同使用により実施している根岸住宅地区の原状回復作業に係る工事について、さらに一定程度の工期を要する見込み」と本市に連絡

11月25日 「米軍施設である『池子住宅地区(横浜市域)の飛び地』の利用における防災訓練の実施について」本市が発表

神奈川県基地関係県市連絡協議会による
「県内米軍基地からの相次ぐ PFOS 等の流出に関する緊急要請」等について

1 緊急要請に至った経緯（事案概要）

本年6月に横須賀基地の排水処理施設から PFOS 等を含む排水の海域への流出が判明した事案について、7月20日に神奈川県基地関係県市連絡協議会において要請を実施しました。しかし、この要請後にも、横須賀基地から基準値以上の PFOS 等が検出され続けたことに加え、9月24日には厚木基地においても、PFOS 等を含む泡消火剤が河川へ流出したことから、10月3日、この相次ぐ PFOS 等の流出に関する緊急要請を実施したものです。

2 神奈川県基地関係県市連絡協議会（県市協）による要請

- ・ 7月20日「米軍基地における有機フッ素化合物（PFOS 等）に関する要請」
（第2回 基地対策特別委員会で報告）※横須賀基地での排水流出を受けて要請実施
- ・ 10月3日「県内米軍基地からの相次ぐ PFOS 等の流出に関する緊急要請」
（今回報告）※横須賀基地での採水分析結果及び厚木基地での泡消火剤流出を受けて要請実施

3 現 状

（1）横須賀基地

- ・ 排水処理施設に PFOS 等の吸着効果がある粒状活性炭フィルターを設置
- ・ 引き続き採水調査を実施し、流出の原因を究明中
- ・ 横須賀市は、日米地位協定 環境補足協定に基づく立入調査の申請を行う意向

（2）厚木基地

- ・ 屋外排水が集水される調整池を閉鎖し、粒状活性炭フィルターにより循環を開始
- ・ 循環中の粒状活性炭フィルターの出口で採水した水の分析結果に基づき、調整池の水を付近の河川へ放流し、調整池については通常の運用体制に移行
- ・ 国・県・大和市・綾瀬市が、日米地位協定 環境補足協定に基づき立入調査を実施

4 市内米軍施設における PFOS 等を含む泡消火剤の保管状況

市内の提供中施設における PFOS 等を含む泡消火剤の保管等については、以下の表のとおりです。なお、これまでのところ、国から市内米軍施設において PFOS 等が流出したとの記録や検出されたとの報告は受けておりません。

	施設名	消防施設	PFOS 等を含む泡消火剤の保管状況等
提供中施設	根岸住宅地区	有	国が調査中
	池子住宅地区及び海軍補助施設(横浜地域)	無	横浜市域内には消防施設は存在せず
	鶴見貯油施設	有	国が調査中
	瑞穂ふ頭/ 横浜ノース・ドック	有	既に代替品への交換が完了